

講師

山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

授業の様子

5月中旬に自然学校と称して宿泊学習をするときにはがきを出すために、はがきの表書きや裏面の書き方のコツを出前授業しました。児童たちは2年生の時一部しか郵便局見学をしたことがなかったため、投函した郵便が届くまでの話をすると、感動しながら聞いていました。



講師

中谷 直子(PFC アドバイザー) 蓮本 洋介(日本郵便株式会社 東京支社社員)

授業の様子

先生方からの「基本的な手紙の書き方を教えて欲しい」という要望のもと、テキストに添いつつ、「書き出し」「本文」「結び」を独自に準備した文例集を使って授業をしました。

はがきはもともと葉(タラヨウ)に書いたことが語源ということや、郵便物には見えないバーコードがついていることをブラックライトで当てて見せたりすると、児童たちは感動していました。



講師

佐藤 春美(PFC アドバイザー) 宗像 渉(日本郵便株式会社 東北支社社員)

授業の様子

講師はポストの色に合わせたベレー帽をかぶって児童たちの興味を引き授業を実施しました。

授業時間内で、ほとんどの児童がはがきを完成させることができました。授業後、児童から「ちゃんと手紙が書けるようになりました。」というお礼の手紙もいただきました。



講師

北橋 恵(大阪郵便局 PFC アドバイザー) 山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

授業の様子

お便りを書く意味から、暑中見舞いはがきの裏面を仕上げて差し出すところまでを授業しました。

児童たちは近くにある淀川郵便局に風景印があることを話すと驚き、講師が用意していた風景印を興味津々に見ていました。

はがきの裏面の「書き出し」「本文」「結び」の書き方のポイントを説明し、文章をじっくり考え仕上げることができました。



講師

高木 庄司(PFC アドバイザー) 山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

新堂 恵子(PFC アドバイザー)

授業の様子

はがきの正しい書き方を学ぶことによって、その楽しさや良さを児童に理解させる目的で、授業を実施しました。

お便りを出す意味から、はがき裏面の「書き出し」「本文」「結び」までを、2時間の授業時間でじっくり考え仕上げました。近くにある草津郵便局に風景印があることを紹介すると、児童たちは感激して話を聞いていました。

講師

早坂 睦子(PFC アドバイザー) 角田 圭(日本郵便株式会社 関東支社社員)

飛田 操(PFC アドバイザー) 山下 健一郎(日本郵便株式会社 本社社員)

授業の様子

はがきや切手の種類、お便りが届くまで、暑中見舞いについての授業を実施しました。

表面の書き方だけでなく、授業の後半では裏面へ水彩用具を使って絵手紙を作成しました。

児童たちは質問に対しよく答えたり、助け合いながら作業をしたりと積極的に取り組み、先生を含めて楽しい授業をすることができました。



講師

向 照美(PFCアドバイザー) 宮城 逸司(日本郵便株式会社 高知県営業統括本部長)

授業の様子

直前に「防災キャンプ」を開催しており、そこでお世話になった方へのお礼の手紙を作成するための授業をしました。

「書き出し」「本文」「結び」の考え方を説明し、それぞれ書き終えた児童に事前に準備した名前スタンプを手紙に押しあげるととても喜んでいました。

作成した手紙は児童たちが直接郵便局へ持っていき風景印を押ししてもらいました。



講師

山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

授業の様子

はがきの表面と裏面の書き方について授業しました。

昨年に「年賀状の書き方」でも出前授業をしていたので、簡単に復習を行った後、表面と裏面の書き方ポイントを説明し、はがきを差し出す相手に書く本文をじっくり考え仕上げることができました。



講師

山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

林 史子(日本郵便株式会社 九州支社社員)

授業の様子

事前にはがきの表面の書き方は学習していたので、裏面の書き方を「夏のお便り補助教材」を使い、「書き出し」「本文」「結び」や郵便物の流れについて出前授業しました。

はがきを書き終えた児童から順に用意していた名前スタンプを押してあげるととても喜んでいました。



講師

板橋北郵便局 社員

授業の様子

「かもめ〜」を使った暑中見舞いの書き方を、出前授業しました。

児童たちは真剣に講師の話に耳を傾け、事前に考えてきた送り先の相手へ、最近の出来事を書くなど、それぞれ思うままにはがきを作成することができました。



講師

林 史子(日本郵便株式会社 九州支社社員)

授業の様子

事前にはがきの表面の授業を実施されていたので、出前授業では裏面の書き方を教えました。

近隣局の風景印を拡大したものを使って見学に来ていた郵便局員が図柄を説明すると、児童たちはより興味を持って話を聞いていました。



講師

山崎 順子(日本郵便株式会社 近畿支社 スーパーバイザー)

授業の様子

はがきの表面と裏面の書き方をテキストを使って出前授業しました。

「書き出し」「本文」「結び」の書き方のポイントを説明し、相手へ送る文をじっくり考えました。

手紙を受け取ったり差し出したりした経験のある児童もいましたが、全国に50円で送れることを説明すると、とても驚いていました。

授業後、「手書きの良さを児童のみんなが感じたようです。」という感想をいただきました。



講師

早坂 睦子(PFCアドバイザー)、飛田 操(PFCアドバイザー)

宗像 渉(日本郵便株式会社 東北支社社員)

授業の様子

授業は、3・4年生のクラスと5・6年生のクラスに分かれて行われました。

どちらのクラスも、授業の前半は暑中見舞いの書き方を学び、後半は絵手紙を作成しました。

全員時間内に完成させるができ、児童から「手紙を書くのは楽しい！もっと手紙を書きたい。」という感想もかけられました。



講師

飛田 操(PFCアドバイザー)、佐藤 キミ(PFCアドバイザー)

宗像 涉(日本郵便株式会社 東北支社社員)

授業の様子

はがきの表面の書き方、暑中見舞いの書き方を学び、本文は、お父さん・お母さんや友だちに宛てて、「夏休みにチャレンジすること」を書きました。全員が時間内に書き終えることができ、授業の最後に児童それぞれが「チャレンジすること」を発表しました。

授業に地元の大森郵便局長も参加したことから、書き上げたはがきに大森郵便局の風景印を押印しました。

児童からは、「楽しい授業だった。」「家に帰って手紙を書こう。」という感想がありました。



講師

早坂 睦子(PFCアドバイザー)、清水 章子(PFCアドバイザー)

山口 晴美(日本郵便株式会社 社員)、波多野 克典(日本郵便株式会社 社員)

授業の様子

授業は、1日目に3年1組で行われ、2日目に続けて3年2組、3年3組で行われました。どのクラスも、授業の前半では年賀状が配達される流れを学び、後半は絵手紙を作成しました。はがきを書き終えた児童から順に用意していた名前スタンプを押してあげると興味津々の様子でした。児童からは「年賀状の流れがわかった」「また書いてみたい」といった感想がありました。

